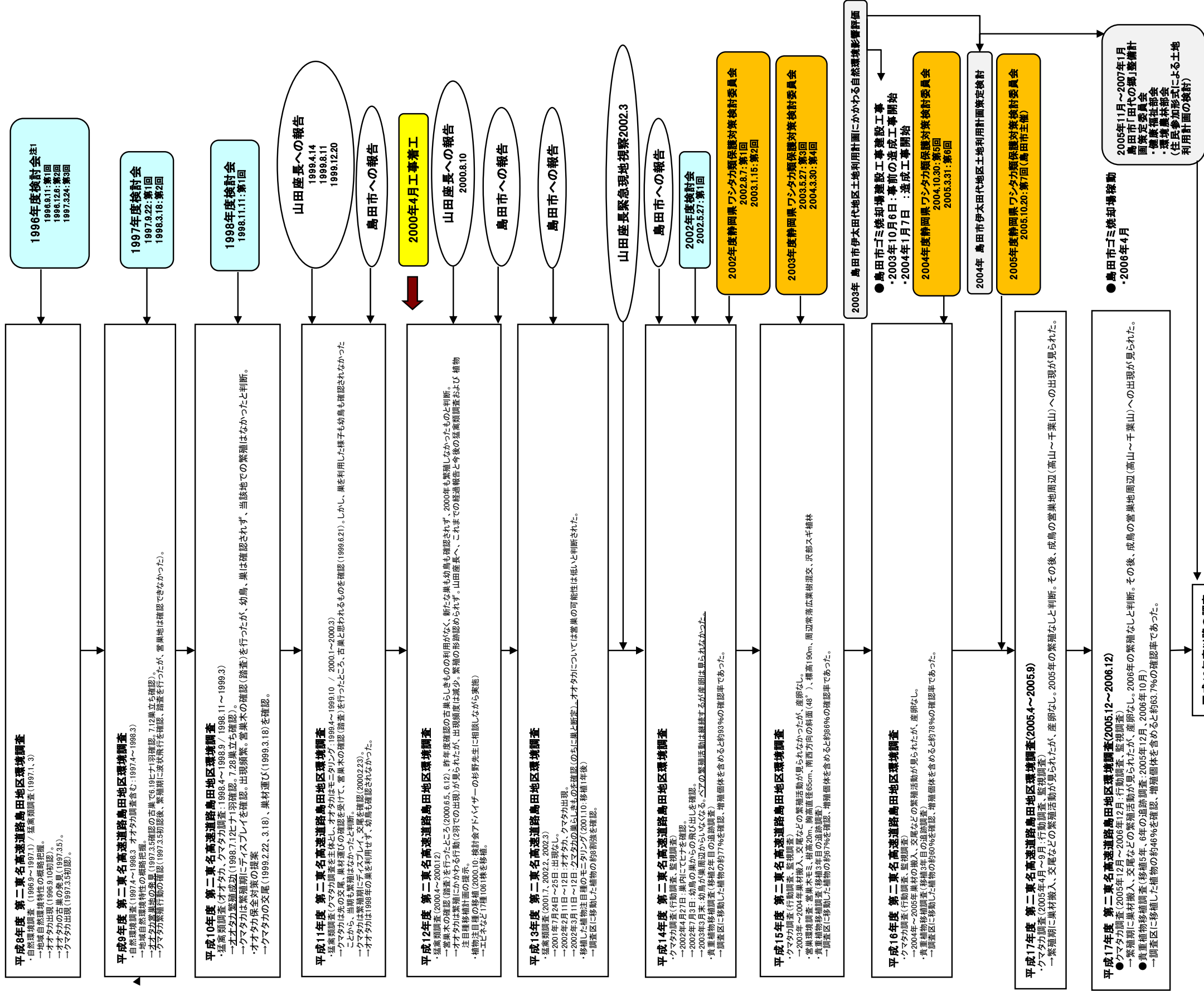


資料 10 田代地区のこれまでの経緯

【検討会の目的】
 ●第二東名高速道路工事にもともなう発生土の処理が計画された田代地区において動植物の現状を把握し、自然環境の保全・復元に関する基礎的資料を得ると同時に適切な対策を行うことを目的とした。

【自然環境保全の基本方針】

●「特定種」注目種」だけの保全に限らず、当該地域の自然環境を一つの生態系として捉え、その生態系の特徴を極力損なわれないことを目標に保全対策を検討した。
 当該地域の特徴は樹林を主体とした盆地地形に規定され、多湿な微気象条件、連続性(背後樹林および河川と海)などから、ワシタカ類の生息など生物多様性の高いことが挙げられる。



注1: 第二東名高速道路島田地区環境調査検討会(1996～1998年度)
 注2: 工事制限区
 A地区: 単から約500m以内一層削立入り禁止
 B地区: 単から約500m以内だが、単からの員止しが無い範囲一重面の通行のみ可
 C地区: A、B地区以外一帯に制限を設けないが、騒音の発生防止等、極力クマタカへの影響を最小限化する。

図 I.1 島田市田代地区環境調査の経緯(1/3)

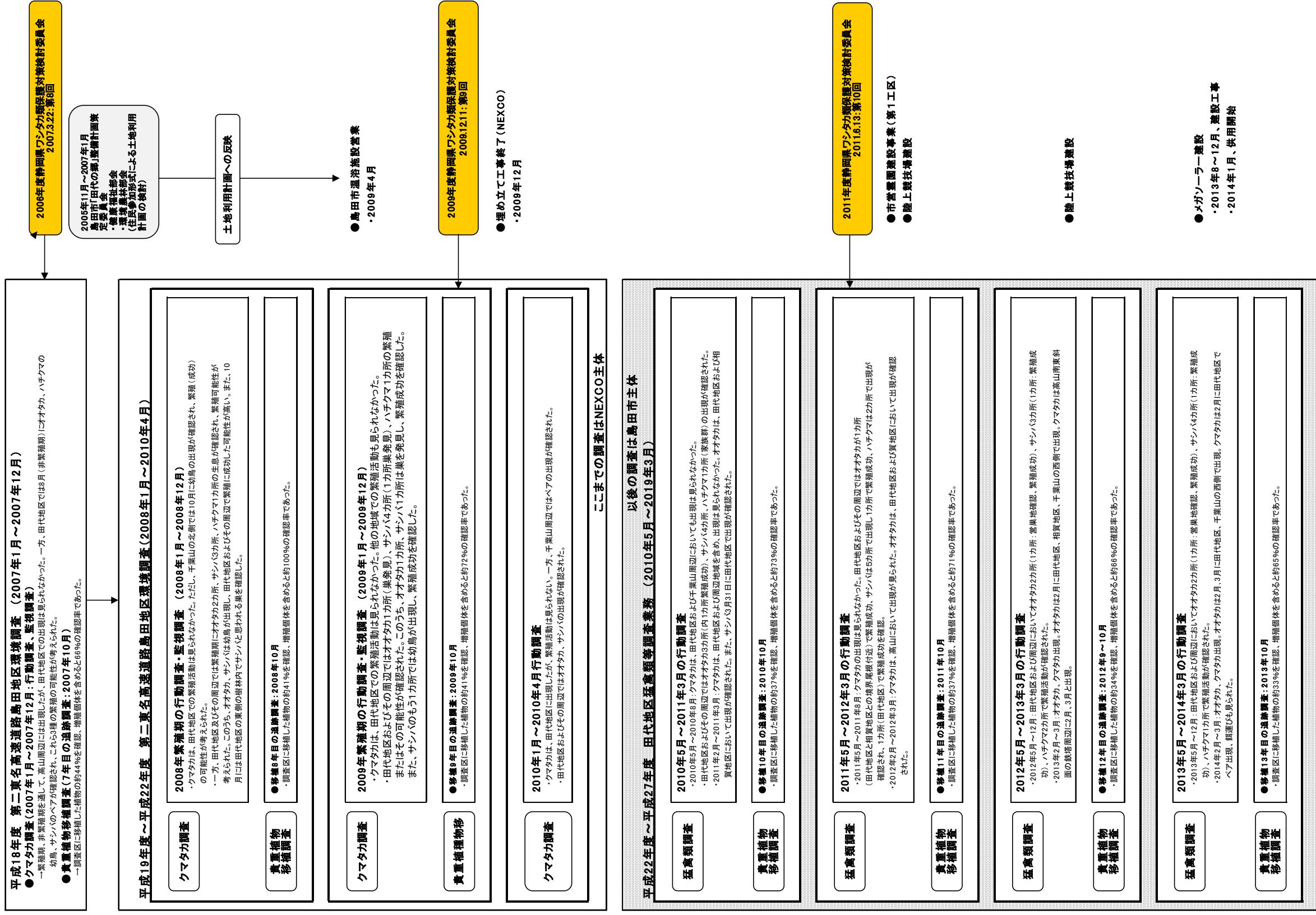


図 I.1 島田市田代地区環境調査の経緯(2/3)

